

公益社団法人

日本眼鏡技術者協会 会報

No. 146

2014 年（平成26 年）冬号 12 月発行



編集/発行 公益社団法人 日本眼鏡技術者協会

発行人 津田節哉 編集人 吉野勝

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-6

TEL 06-4807-5070 FAX 06-4807-5009

URL <http://www.megane-joa.or.jp/>

E-Mail joa@maple.ocn.ne.jp

無断転載・転用・複製を禁じます

information 2

教育関連報告（試験結果など） 3

議事報告（理事会） 5

映画のご紹介（主人公が眼鏡店勤務の2本） 6

technological lecture 7

消費者からのご相談 10

青年交流会から 11

支部訪問（山口県支部） 12

支部活動 13



JOAのテーマ 眼鏡学の確立はJOA

若い層
女性向き
セミナー

青年・女性部会では2～3月に講習会（認定講習会）を開催します。同部会では、若い層や女性層に特に関心の高いテーマを選び、セミナーを開催する予定です。

初めての開催となる今回は、下重恵子氏をお迎えして、「顔形に合う似合うフレームの選び方」を学びます。開催は、東京（2月18日、東京眼鏡専門学校）、大阪（2月25日、ハービス OSAKA）、愛知（3月18日、ウインク愛知）となっています。ぜひご参加ください。なお、お申し込みは当協会のHPからでもできます。

代議員
への
立候補

代議員の任期が3月末で満了となるため、27・28年度の代議員等の選任を行います。立候補される方は、支部代議員・補欠代議員立候補の届出をしてください。特に女性の立候補をお待ちしています。各支部の定数を超えた立候補者がある場合は、2月にその支部会員の皆様に投票用紙を送付、投票の結果で決定します。

ラジオとTVで放送

高嶋ひでたけのあさラジ！「ひでたけのやじうま好奇心」

（7月22日、7:43～07:52、ニッポン放送）

●間違いだらけのサングラス選び

（事前に片山副会長はじめ各方面へ取材があり、それを基に放送されたようです）

サングラスの必要性について、「眩しさと紫外線は別のもので、日本人も目に紫外線を浴び続けている。過剰に浴び続けていると水晶体などの組織がダメージを受けて、白内障などや時には失明につながることもあると警鐘を鳴らしている」と説明。また、諸外国の紫外線対策の実情を紹介した上で、アメリカやオーストラリアの国を挙げての対策（特に子供）についても触れ「日本でも子供の頃から目の紫外線対策に取り組むべきだ」という声も上がっている」と紹介しました。

さらに、「暗いところでは瞳孔が開くので、濃い色でも紫外線カット機能のないものは効果がない。紫外線カット機能、紫外線透過率の低いもの、偏光サングラスなどがいい」と勧めました。

未来世紀ジパング

（10月13日、TV東京）

●池上彰SP② いま世界一沸騰する国「アゼルバイジャン」

番組では、アゼルバイジャンでナゴルノ・カラバフ紛争で難民となった人々を取材。その中で、年に一度難民の目の検診をして

メガネを無償提供している金井昭雄氏（当協会副会長）について「世界が認めた・・・日本人」として紹介。※金井副会長は日本人として初めてナンセン難民賞を受賞（2006年）されています。

さらに、現地のTV出演の紹介や強度遠視で通常の3割程度しか見えない3歳の少女を取材。メガネはその場で作るほか、この少女をはじめ現地では製作できない特注の144人分を帰国後に作り送っています。

アゼルバイジャンではそのメガネを国連職員が家に届け、人々の喜ぶ様子も。

インタビューで金井氏は「見えるということは、人生で命の次に大切なこと」とコメント。また、司会の池上彰氏は最後に「生活の質の向上という意味で、メガネのことはつい忘れがちになるが、それによって人生が開けてくる」と締めくくりました。



今年度はSS級に36名、SSS級は1名が合格されました
生涯教育・実技講習も無事終了しました

■生涯教育講習会 40支部35会場で実施

生涯教育は、7月1日から11月27日まで実施、40支部35会場で計1,936の方が受講されました。今年度のテーマは、①出直し、レンズ光学の基礎ー2「ネット時代の眼鏡技術者に必要な光学」(90分) ②眼鏡技術者のための眼科学「白内障」(60分) ③「遠近累進屈折力レンズの装用テスト」(30分)で実施しました。

■実技講習会 6つのテーマで実施

実技講習会は、開催支部が次の6つのテーマの中から選んで実施、計420人が受講されました。
①視力検査のあり方(5会場) ②自動型レフラクターヘッドを用いた両眼視下屈折測定的基础(5会場) ③AC/A比測定の考え方と実技演習例(1会場) ④深視力テスト(2会場) ⑤困った時の乱視検査(5会場) ⑥ビデオ計測システムを念頭においた眼鏡フィッティング(1会場)

認定眼鏡士試験結果

SSS級

SSS級認定眼鏡士試験は、9月2～3日に東京、愛知で実施。今回は、23人が73科目を受験、11人が16科目に合格されました。このなかで全7科目(既合格科目含む)に合格されたのは、中島和子さん(広島県支部)です。おめでとうございます。

中島さんが体験談を綴ってくださいました。

SSS級試験 体験談

中島 和子さん
(広島県支部)



31年前、メガネ屋の夫とお見合い結婚をし、その仕事を手伝う中、知識の限界を感じてWOC(ワールド オプティカル カレッジ)の通信教育に入学したのが2009年春でした。

その入学式での林先生の「この講座はメガネの基礎の基ですから」という言葉は、ずっと私の心に残りました。そして、卒業して赤城賞までいただいて感じた「メガネ屋さんの仕事ってなんだろう」が、SSS級の勉強をするきっかけになりました。

まず、名古屋で講習を受け、すぐに全科目受験し2科目合格。2年目に3科目、3年目に2科目と3年掛かりましたが、この勉強を通して林先生の「基礎の基」の意味がやっと分かったことと、メガネ屋さんの仕事を知ることができたことがよかったです。

今はスタートに立ったばかりですが、学んだことが何に役立つか考えていこうと思っています。

SS級

SS級の学科試験は、8月20日に東京、愛知、滋賀、大阪、岡山で実施。150人が受験し、合格は72人（合格率48%）となっています。また、実技試験は8月25～29日に、学科と同様5会場で計132人が受験、63人が合格（合格率48%）されました。

すでに合格している学科・実技の科目を含め、今年度全8科目に合格されたのは36人です。おめでとうございます。

26年度のSS級認定眼鏡士・実技試験の評価

SS級認定眼鏡士の実技試験は、測定、フィッティング、加工作製の3科目です。各科目の総評です。

測定

【総評】カバーテストやクロスシリンダー法など測定の手順に気を取られ過ぎていて、測定中、十分な雲霧がなされておらず、最終的な球面度数がマイナス寄りに強め（過補正）になっている傾向が目立った。また、カバーテストにおいては普段行っておらず、この試験のためだけに練習してきた印象がある。手順はもとより、視標の呈示位置から遮眼子の移動、さらには結果の判断に至るまで、様々な点で間違いが目立った。

フィッティング

【総評】力学的調整では、マネキンに強固にかかってしまう物、逆にただ単に「置いた」状態の物が多く、フレームと皮膚の摩擦を適切に利用した調整は少ない。

耳介の付け根に「ひっかけ」ではいけない。また、側頭骨への適切な圧迫が必要である。

パッドについては、もっと食欲に当たり具合や隙間の有無をしっかりと確認して対処してほしい。クリングス足の曲げ方の巧拙もあろうが、それ以前にしっかりと「見る」ことが必要である。日本人の鼻型は、思っている以上に「ハ」の字である。

テンプル（先セル）の下曲げは、先セルがどこからダラダラと下がり始め、本来の下曲げ開始点が判然としないものも多い。直線のまま耳介上部付着点に達し、そこから適切な曲線、そしてまた直線、というメリハリが必要で、このことによりしっかりと位置が決まる。

最終のアイポイントの印点を「忘れて？」いて、採点不能となったのが数例あったのは残念な事である。もっと落ち着いて作業をしてほしい。

加工作製

【総評】カーブやデザインを意識して手摺りするあまり、レンズサイズが小さくなっている。逆に、サイズが大きいのに隙間があり、無理に枠入れしてフレームが変形したり、軸を優先してフレームが変形したりするケースもあった。

白濁汚れも多かった。お客様にお渡しする時と同じように丁寧なクリーニングを心掛けてほしい。

理事会

日時／平成26年10月29日(水)午後2:00～4:00
場所／ニューオーサカホテル
出席／理事 25人中、出席 23人、欠席 2人
監事 2人中、出席 2人

来年度の代議員改選の定数見直しなど

女性の代議員数は10%を目標に

平成26年度上期事業ならびに

決算報告（議案1）

平成26年度上期の事業（豊福総務部長）、同教育事業（木方教育部長）、同上期決算（中島財務部長）および監査（岡野監事）を報告。拍手で承認。

代議員選挙の実施（議案2）

代議員改選に伴う支部別代議員数見直しおよび支部代議員等選挙公示について報告（豊福総務部長）、承認された。津田会長より「4～5名につき女性代議員は1人というのは、一つの目安で強制的なものではないが、ご理解いただきたい」と説明があった。

顧問・相談役委嘱（議案3）

豊福総務部長より資料以外の推薦を募ったが、特になく原案通り承認。顧問：大頭仁氏、加藤真代氏、相談役：坪内登氏、森川聰氏、中島順二郎氏

50周年記念事業（議案4）

資料報告のあと、津田会長が「女性理事の2人には、記念講演の企画を主にお願したい。記念誌の発行は、40周年誌を発行しており50周年として必要かどうかは検討の余地がある」と述べた。

（報告事項）

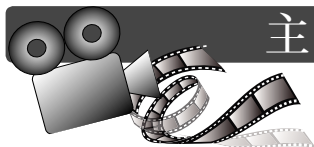
眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き／岡本理事（推進機構代表幹事代行）が「11

月の総会で発足3年となる。目標に対しての反省に基づき必要な活動を継続、展開する。目標はあくまで消費者に最適なビジョンケアを提供できる社会的な仕組みの構築で、その観点から技術者協会会員の皆様のご理解とご協力をお願いしたい」と述べた。**平成26年度PR事業**／資料を基に報告（辻広報部長）。上半期：4月にモデル撮影、サムネイル集Ⅱ作成。7月にリーフレットを会員に各50部配布。9月に布製ポスターをJOA会報に同封し送付。リーフレット、ポスターはリピート需要も好調で、現在事務局に若干あるのみ。下半期：会員ならびに非会員、認定眼鏡士、非認定眼鏡士に配慮した公平なPR活動を目指す。リーフレットは増刷して必要分を配布可能にする。グッズは状況に応じて作製。来年度より会報誌、教育特集号、通常総会案内をA4サイズに。会報誌の内容も一新する。**組織活性化特別委員会**／資料に基づき報告（平岩組織活性化委員長）。内容は2、11ページ参照。**その他**／①会員数(6,153人)ならびに認定眼鏡士登録者数(7,080人)9月末現在②事務局のコピー機／法定耐用年数経過、1枚当たりの費用増、老朽したFAXとの統合などを考慮して複合機を購入④各地区報告：小野理事より神奈川県支部のメガネの日の活動、山崎理事より東京都支部の活動、横山理事よりメガネ枠廃材からのグッズ作製について報告と紹介。

理事会冒頭の会長あいさつ（要旨）

最初におめでたいことを紹介しておく、片山副会長が東京都から組合功労で表彰を受けられた。また、金井副会長がテレビ東京の番組・未来世紀ジパングで、誇るべき日本人として紹介された。さらに神奈川県支部の活躍でメガネの日に3,000人を超える消費者を集めていただき、御礼を申し上げる。本日は上期決算報告が中心となるが、来年度は技術者協会として法人移行後の50周年を迎え、

記念式典などを行うが、その企画を女性理事の2人にお願したい。また、代議員選出については、女性会員比率10%以上を目指しているが、現在女性代議員は110名中4名のみであり、女性比率10%を目標として代議員の選出をお願いしたい。女性代議員の数が増えると、女性の活躍が更に期待できるので、この線でお願したい。



主役が眼鏡店勤務の映画です

主役が眼鏡店勤務という設定の映画が2本あり、話題になっています。一本は主役が認定眼鏡士という設定、もう一本はすでに上映されていますが、日本眼鏡販売店連合会がタイアップしてポスターを製作しています。

ライアの祈り

原作：森沢明夫 監督：黒川浩行 脚本：寺田敏雄

出演：鈴木杏樹、宇梶剛士、秋野太作、藤田弓子ほか

ある日、協会事務局にライアの祈りの助監督の方から「認定眼鏡士の登録証を映画のセットの中で使いたい」という電話がありました。主役の桃子は、眼鏡店の店長で「認定眼鏡士」の設定となっているとのこと。また、撮影は地元の眼鏡店で行われたそうです。公開は2015年6月とのことですので、ぜひ注目してください。

【あらすじ】青森県八戸で眼鏡店の店長を務める桃子はバツイチの35歳。弘前で100年続くそば屋の長女でもある。不幸な離婚を経験、恋に臆病になってからずいぶん経っている。そんなある日、人数合わせて誘われた飲み会で出会ったのは、何とも風采のあがらない考古学者だった。彼の手引きで遺跡の発掘に目覚めた桃子だったが……。

平成から遡ること遙か昔。縄文の村で暮らす若き狩人ライア。化け物のようなイノシシと果敢に戦い、決して弱音を吐かない勇者だ。心に「神の欠片」を持つライアは不思議な魔力を持つ愛犬ギンを従え、波乱の人生へと船出してゆく……。平成と縄文の2つのドラマが感動のクライマックスへと読者を導いていきます。現代人が忘れかけている温かくて懐かしい心と心の触れあいが今作品のテーマ。さらに青森の手つかずの自然、遺跡、そして思わずつばを飲み込む美味しい食べ物の数々。心が辛い今だからこそ読みたい、ハートウォーミングな傑作小説が誕生しました。（「ライアの祈り」公式HPより）



9月11日付のデリー
ー東北
撮影風景
眼鏡店での

小野寺の弟・小野寺の姉

監督・脚本：西田征史

出演：向井理、片桐はいりほか

主役の進のトレードマークがメガネ、姉のより子がとある商店街の眼鏡店に勤務していることから、映画製作委員会より日本眼鏡販売店連合会にオファーがありタイアップ。特製ポスターの作製となったそうです。少し前になりますが、10月25日から上映されました。

【あらすじ】早くに両親を亡くしてから、年季の入った一軒家でずっと暮らしている小野寺進とより子の姉弟。一汁三菜の朝食を一緒に食べ、休日是一緒にスーパーの特売に出かける。いい年頃なふたりのこんな生活は、端から見ればやや気のどくに映るかもしれないが、ふたりにとっては至って自然。ひたすら穏やかで和やかな日々を過ごしていた。そんなある日、小野寺家に1通の誤配達郵便が届く。その手紙をきっかけに進とより子、それぞれの恋と人生が動き始める。お互いを大切に想い合う不器用な姉弟のそれぞれの幸せの行方は。そして、弟が抱える、ある大きな想いとは一。（「小野寺の弟・小野寺の姉」公式HPより）



(C) 2014『小野寺の弟・小野寺の姉』製作委員会

眼鏡士のための算学⑥

technological lecture

日本眼鏡技術専門学校 講師 吉野勝

前回はメガネが摩擦力で頭部に固定される様子を、鼻パッドを例に挙げて説明しました。摩擦力で固定されるということは、いってみれば皮膚面に「貼りついている」状態ですから、締め付ける力は意外と小さいものです。前回の図を再掲しておきましょう（図1）。

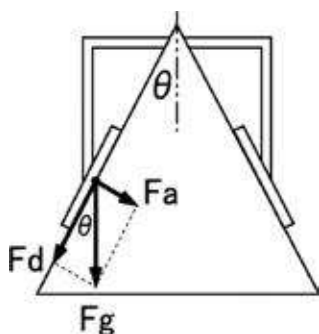


図1 摩擦で固定

摩擦力100%の状態を摩擦係数1といいます。締め付けの力Faは最小になります。ところが摩擦力100%は、あくまで理想状態です。実際の装用では、汗や皮膚の皮脂、さらには髪の毛が接触面に挟まったりすると摩擦力は急激に小さくなります。そうするとどうなるでしょうか。

例えば、みなさんが大きな氷でできた三角形の先端に立たされてしまった、と想像してみてください（図2）。

つかまるところはありません。足元はつつると滑ります。

この状況を持ちこたえようとするれば、下品な話で申し訳ありませんが股間に力を入れて両足を氷に押しつけて、氷を両側から締め付けようとするでしょう。大変な力が必要です。少しでも締め付けが緩むと、氷の先端が股間に食い込んで（下品な例えですみません。当協会に女性部ができたというのに・・・）しまいます。

摩擦力が小さくなると、こういう大きな力で締め付けないと、止まらないのです。これを「ビッセルスの力」といいます。

そのビッセルスの力は図3のようになります。図1と比べてみてください。フレームから鼻にかかる重量Fgは同じです。ところが鼻を押す力Faは、どうでしょうか。図1の何倍にもなっているのがわかるでしょう。これによって左右から鼻がギュウギュウと締め付けられるのです。



図2

鼻を締め付ける力は、図1のFaが極小、図3のFaが極大となり、摩擦力の大小によってこの範囲内で変化するのです。

では、摩擦がゼロの時のFaの大きさを計算してみましょう。

ここで与えられているのはFg、これは三角形の高さです。求めたいFaは、一角が θ の直角三角形の斜辺にあたります。そして、 θ は底辺と斜辺とのなす角度です。

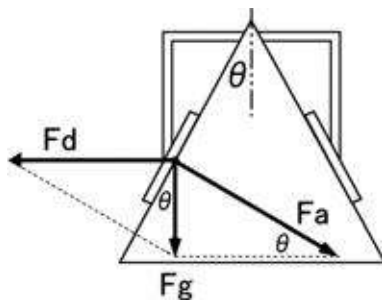


図3 締め付けで固定

さてここで、 $\triangle ABC$ の面積を S とすると、 $S = \frac{1}{2} \times 10 \times 10 \times \sin 60^\circ = 25\sqrt{3}$ となります。

よって、前回と同様に鼻の広がり θ が 20° 、片方の鼻にかかるメガネ重量 F_g が 10g だとするとビッセルスの力 F_a は、

$$F_a = \text{高さ}(F_g) \div \sin 20^\circ = 10 \div 0.3420 = 29.24\text{g}$$

という大きな数字になります。

前回計算したのは摩擦力「だけ」によるもので、その時は $F_a = 3.4\text{g}$ でしたから、締め付け「だけ」で固定した時の大変さがわかるでしょう。

また、図3をよく見ると、 θ の角度が小さくなるほどFaの長さがどんどん長くなっていくだろうことは容易に想像がつかます。試しに θ が 15° だったら、ビッセルスの力は、

$$F_a = \text{高さ (Fg)} \div \sin 15^\circ = 10 \div 0.2588 = 38.64\text{g}$$

と、やはり大きな力になり、スマートな鼻の人ほど「鼻がつらい」ことがわかります。

technological lecture

話は変わりますが、今年のIOFTのおりに1日休みをいただいて、以前から行きたかった千葉県佐原市の「伊能忠敬記念館」を訪れました。伊能忠敬(いのうただたか)は、江戸時代後期に日本中を踏破して初めて科学的に日本地図を作った人物として、知らない人はいないでしょう。その資料や測量器具の多くが国宝に指定されたことを最近知り、あることを確かめに行きたくなったのです。

そのあることとは、彼が天体観測に使った望遠鏡の制作者を知ることです。

私の家の近所に「善兵衛ランド」という博物館があります。江戸時代の大坂・貝塚で独自の工夫を凝らして優秀な望遠鏡を作っていた職人、岩橋善兵衛の資料館です。私の遠縁がかつてその館長をしていたことがあって、思い入れがあるのです。もしかして善兵衛さんの望遠鏡が「国宝」に？

いや～、それにしても知りませんでした。幕張のTDLの印象があって、東京からすぐに行けると思っていました。遠いんですね～、佐原（千葉県の方、ごめんなさい）。電車だと途中の乗り換えもあって2時間以上。浜松町からの高速バスでも佐原駅北口まで2時間近くかかります。バスが好きなのでバスで行きました。



佐原は、重伝建（重要伝統的建造物群保存地域）に指定された歴史のあるいい町ですね。町並み歩きをしている人がいっぱいいますが、伊能忠敬記念館を訪れる人はまばらです。ほぼ貸し切りで2

時間近く、館の人が不審そうに見にくるくらい、ゆっくりと見学できました。

で、肝心の望遠鏡です。ありました。長さ約2メートルの漆塗りの望遠鏡です。説明は「観星鏡」、大坂・貝塚の岩橋善兵衛制作。木星の衛星観測などに使ったとあり、「原資料 国宝」と書いてあります。展示しているのはレプリカですね。貝塚の善兵衛ランドにあるのは同じくらいの高さで、紙筒を赤色の漆で仕上げた一閑張りというものですが、こちらは木製のように、ほとんど貸し切りをいいことに、スマホ

で一枚盗撮させていただきました。

では、なぜ地図製作に望遠鏡が必要なのでしょう？ それはその地点の緯度(北緯)を知るためなのです。彼の地図作りの手法は、できるだけ海岸線に沿って地形を細かい直線に区切って、その長さの方角を精密に測るというものでした。長さは鎖を用い、方角は羅針儀を使って相当精密に測定できたようです。その後、図面上に復元していくわけですが、どうしても誤差がでます。そのため所要所で夜間に北極星を目当てにその場所の北緯、すなわち地球上での南北の位置を求めて補正するのです。

東西すなわち、現在地の経度は太陽の南中時刻を調べる必要があり、彼は観測用のかなり精度の高い時計を使っていましたが、こちらは誤差が大きかったようです。

誤差に関しての補正は、土地の高さにも及び、坂道に沿って長さを測ると斜辺の長さを測ることになり、誤差が生じます。そのため坂道ではその勾配を測り水平距離へと校正を行いました。

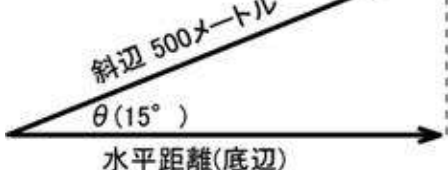


図4

例えば斜度15°の坂道を測定(図4)したとします。三角関数では斜辺と底辺が関係するのはコサイン($\cos$)で、 $\cos 15^\circ$ の関係があり、水平距離(底辺の長さ)は、斜辺の長さ $\times \cos \theta$ で得られます。 $\cos 15^\circ$ は0.9659ですから、約3.3%水平距離が短いという誤差が出る

ことがわかります。すなわち

$$\text{水平距離} = 500\text{m} \times \cos 15^\circ = 500 \times 0.9659 = 482.95\text{m}$$

が得られます。

このための江戸時代の三角関数表もちゃんと展示されており、もちろんサイン、コサインではないですが、このような計算をコツコツと繰り返していた彼の「地球を測定したい」という情熱に心から感動し、大満足で帰路についたのです。

technological lecture

事務局

認定眼鏡士の有効期限のご確認を

有効期限が平成27年3月31日で受講回数不足の方には、お知らせをお送りしています。通信講座などで受講回数(3回)を満たしてください。

ご不明な点は、事務局(電話 06-4807-5070)までお問い合わせください。

事務局年末年始の休業日

12月29日(月)～1月2日(金)は、休業させていただきます。土・日をさみしますので、年末は12月26日(金)まで、年始は1月5日(月)からとなります。ご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

消費生活センターなどを通じてのお問い合わせ・ご相談



消費者からのご相談・お問い合わせについては、各地域の消費生活センターなどを通じて受け、消費者委員会（亀井正美委員長）からの回答を返送しています。

※回答は一般向けに専門用語の補足説明などを付け加えていますが、この誌面では省略している場合があります。また、回答文末に次の文章を記しています。
*私たち（公社）日本眼鏡技術者協会は、調製技術も含め眼鏡技術の必要水準の認定とその向上のため認定眼鏡士制度を設け、眼鏡専門学校卒業生および認定試験合格者を認定眼鏡士として認定しております。

相

① フィットिंगのために熱を加え変形修正することは、繰り返し行っても品質に影響を与えないのか。

② 影響を与えないのなら、購入前の商品にそれを行って再び商品として陳列しても良いものか。中古でなく新品になり得るか（商習慣の観点から）。（仙台市消費生活センター 26.10.17）

答

①お尋ねのことは、ツルの曲げ部分の調整に関してと思われます。中に芯が入っているツルは、多くの場合、まっすぐな状態で作られ、適正な温度で機械や人の手によって耳に掛かる部分の曲がりを追加します（最初から成型されるものもあります）。また、小売店では、左右の不均衡、曲がりの不足など微調整をした後に陳列します。さらに、装用する方の顔にフィットさせる調整作業が加わります。

つまり、少なくとも3回、加熱と加圧とが加えられて形が整えられています。「適正な温度で、適正な力で、適正な範囲」を越えずに、プラスチックの形状を変化させるのであれば、品質の劣化は起こらないという前提があるからです。現在使われる素材でメガネフレームが作られるようになってから、ずっとそのように理解され、そのようにやっており、特に問題は起こっておりません。

もちろん物性的な変化はあると思いますが、私のお答えできる範囲を超えます。ただ、たび重なる修正は劣化に至ることもあると思います。しかし、「何回まで」「何回以上は」といった回数の問題ではないように思います。不適正な温度、過度で急激な力、限界を超えた曲げなど、一度で商品価値がなくなることもあります。また、何回やっても条件を守れば問題ない、とも思いません。実務上は、上記の3回に1～2回加わる程度だと思います。というのも、多くの場合、顔に合わせて調整するのは、お買い上げが決まってからでその前に調整するのは例外的なことです。ルーチンなことではありません。

以上のことから、①のお答えは次のようになります。適正な温度で、適正な力で、適正な範囲を越えずに、プラスチックの形状を変化させるのであれば、通常の使用に何か悪影響が生じるような品質の劣化は起こらないと思います。ただし、その形状変更の回数は少ない方がよいと思います。

②メーカーや卸店から購入した商品を陳列する際、輸送中になんからの理由でフレームが変形したり、型崩れを起こしていることがあります。その場合は正常な形状に調整する必要がある、商品に手を加えることはあります。しかし、それ以上伸ばしたり曲げたりすることは購入が決定し、顧客の顔にフィッティングするまでは行いませんので、陳列されている商品は、商慣習上も当然新品と考えて差し支えありません。

青年交流会への参加ご希望の方

まず、Facebook（以下FB）にアクセスしましょう。<http://www.facebook.com/>

右欄にある全ての項目を正しく入力し、その下にある「アカウント登録」をクリックして下さい。

「友達を探しましょう」と表示されますが、あとからでもできますのでスキップ。氏名や学校を聞かれますので、入力して次へ。

※FBは実名での登録が原則です。

※店舗名やサービス名での登録もNGです！

写真がたくさんでするので、もし知り合いがいたら「友達になる」を押してみてください。これもいつでもできますので、飛ばしても大丈夫です。

写真を設定する画面になります。これもスキップすることができますが、FBでは相手の顔が見えることで安心感や楽しさにつながりますので、写真はできるだけ早く登録しましょう。

登録したメールアドレス宛にFBからメールが届きますので、リンクをクリックして登録を完了します。

上記の説明は、こちら <http://www.function-t.com/facebook/> から引用しました。詳しくはこのページをご覧ください。

Facebookに登録しましょう！



眼鏡技術者協会青年交流会は非公開のグループです。55歳までの方と女性（年齢は問わず）が、メガネの情報交換をしています。メンバーは現在47名です。もっと全国的にメンバーを増やしたいと思っています。ぜひFBを始めていただき、日本眼鏡技術者協会・青年交流会に参加してください。亀井青年部長と友達になり登録手続きを行います。友達検索で亀井正美を捜すか、協会本部までお問い合わせください。

相

「メガネが緩むのでネジを締めてもらった。ネジの締め方が強すぎてレンズの付け根に負荷が掛かって折れたと思われる」と相談を受けました。

ネジの締め方とレンズにかかる負荷等の因果関係がありますでしょうか。データがあれば教えて下さい。

また、折れた原因はどのように考えられますか。（埼玉県朝霞市役所地域づくり

支援課 消費生活相談室
26.10.20）



答

まず、ネジの締め方のデータはありません。

原因ですが、右側のテンプルはネジの回転方向の関係でテンプルのネジが緩みやすいです。そのために右側のネジは強く締めることはありますが、ネジの締め付けが強すぎるとテンプルの開閉がしにくくなり、根元に負担が掛かることはあると思います。しかし、ネジを締めた後はテンプルの開閉を確認しているはずですが、それが、原因で折れることは考えにくいです。

写真のフレームの状態は、使用者の顔へのフィッティングがなされていないように思われます。それにより顔からズレるためフレームの掛け外しやテンプルの開閉が頻繁に行われ、フレームに負荷が掛かることもあります。

このタイプ（ナイロールフレーム）は、折れた部分に経年使用で負荷が掛かります。フレームの状態を見る限りは永年使用しているようには思えないので、販売

店を通じてメーカーに折れの原因を調べてもらうことがいいかもしれません。

支部活動 訪問

山口県支部

山口県支部（吉永支部長）の生涯教育講習は9月11日午後、山口グランドホテルで実施されました。

会場のある JR 新山口駅は市の中心ではないものの県内各地からのアクセスがよく、また毎回お隣の島根県からの参加者もいるとのこと。今回は、いつも出席される方々が欠席ということもあり33人の参加となりました。

現在の支部会員は56人ですが、他の支部と同様、山口県でも小売店の閉店が増えており、同支部でも今年に入り、閉店や高齢により3名が退会されています。

吉永支部長によると、「後継者問題や安売店の影響のほか、消費者の買い替えサイクルが長くなっていると思います。特に退職された方などは、多少見えにくくなってもルーペを補助に使うなど、メガネの購入を先延ばしにする方もいます」という厳しい状況。

講習会の参加者にお話を伺うと「そろそろ引退しようかとも思うが、勉強は別。勉強をして損はない」と答えてくれました。また、会場では、講習開始前や休憩時間にもテキストを広げメモを取るなどの参加者が数人いらっしゃって勉強熱心な方が多い印象を受けました。

なお、山口県には、玉祖神社というレンズ・鏡にゆかりのある神社があり、同支部でもメガネ供養に参加されているとのこと。（13 ページで紹介）



- ① 吉永支部長
- ② 講習を熱心に聴く受講者のみなさん
- ③ 「眼鏡技術者のための眼科学」（白内障）を担当の近藤講師
- ④ 「出直し、レンズ光学の基礎-2」を担当の秀野講師

支部で実施した認定眼鏡士の PR や メガネの日・目の愛護デー行事などの活動です

※11月30日までに届いた報告です

・・・・・・・・・・山口県支部

毎年4月の第2日曜日には、眼鏡感謝祭（玉の祭）が行われ、山口県出身で自民党副総裁の高村氏、松浦防府市長、同県眼科医会の大西副会長などが列席し、盛大に執り行われるとのことで、もちろん同支部も毎年参加し、集められた古メガネを供養しています。この模様は、地元のテレビニュースで紹介されているそうです。（写真は昨年のもので）



玉祖（たまのおや）神社は、三種の神器の一つ、八坂瓊曲玉*（やさかにのまがたま）を作った玉祖命を祀っていることから、メガネやカメラなどレンズ関係の神様として知られているとのことです。

*天岩戸の神話で、隠れてしまった天照大神を岩戸から誘い出す時に使われたという

・・・・・・・・・・徳島県支部

徳島県めがね商連合会（主催）および当協会徳島県支部（協賛）は、第16回「めがね供養」を10月1日鳴門市の葛城神社で執り行ないました。当日は連合会会員・支部会員はもちろん、同連合会顧問の国会議員、取引メーカーならびに卸売会社、また古メガネをタイへ寄贈した際の窓口となったNPO法人を招いたほか、隣接する香川県支部からは銭川支部長をはじめ3名が出席されました。

供養祭では、葛城神社内のめがね塚前に設置した祭壇に日常の営業でお客様から預かった不要メガネを供養しました。懇親会では、めがね塚建立に尽力された同連合会の石川理事と逢坂顧問の2名を功労者として表彰。

当日は、徳島新聞、朝日新聞、TVとくしまの取材があり、めがね供養や発展途上国への古メガネ寄贈を多くの人々に知ってもら

うことができたとのことです。

・・・・・・・・・・熊本県支部

10月1日、手取菅原神社で、メガネ供養祭を開きました。当日は、11人の会員をはじめ計25人が参加。祝詞と玉串を奉納し、供養とともに感謝しました。



..... 東京都支部

10月1日、不忍池・弁天堂で「第2回めがね供養会」を開きました。東京眼鏡販売店協組が主催、当協会東京都支部が協賛し、集まった不要メガネ840本を供養。

また、供養前の12時から約2時間は、弁天堂を訪れた人に対し、小売組合一覧、当協会のクリアファイルと視力表、付箋セット、リーフレット(日眼連、当協会、推進機構など関連団体を紹介)をセットにしたものも配布。さらに、(一社)福井県眼鏡協会公認・めがね大使「キューティーパイ」も参加し、PRに一役買いました。



..... 福井県支部

10月18日、福井市のエルパホールで開かれた「目の無料検診」(主催：福井県アイバンク、福井県眼科医会)にてメガネの無料洗浄、調整に協力しました。会場には約100名が訪れました。

イベント開催に際しては、各店でポスターの掲示やチラシの配布で啓蒙しました。

..... 青森県支部

今回は、FM青森で11月27日～12月5日まで、15秒・33本のスポットCMで実施しました。さわやかなBGMにのせて「日本眼鏡技術者協会青森県支部からのお知らせです。メガネは医療品です。あなたのメガネライフのために正しい知識と技術の認定眼鏡士のいるお店でお求めください」とメッセージを放送しました。

また、9月17、18日の生涯教育および実技講習の様子が、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送の3局でニュースとして紹介されました。



.....神奈川県支部

昨年第1回を開催し、大変好評を博しました。今年度は、横浜駅東口・コミュニティスペースで、10月1日に実施しました。

メガネの相談・調整コーナーでは、一人ひとりのメガネに歪み直しやフィッティングを丁寧に施し、大変喜ばれました。メーカーのご協力による機能レンズの紹介・体験コーナーでは、多くの方から「こんなレンズがあることを知らなかった」「今まで眼鏡店で紹介されたことなどなかった」などの声が聞かれたそうです。

参加した会員の多くが、日頃の業務において商品説明の不十分さを痛感しました。お客様は低価格だけをメガネに求めているのではないと感じ取ったとのこと。

なお、メガネの相談・調整コーナーには約500名の方が来場、コミュニティスペースの事務局にはお礼の電話が数件あったそうです。



.....大阪府支部

10月12、13日の両日、大阪市北区のブリーゼプラザで開催された恒例の「目のすべて展」((一社)大阪府眼科医会)に、大阪眼鏡小売協組とともに協賛。台風19号に備えJRが予告運休するなどの中、2日間で500名の来場者がありました。

遮光眼鏡や累進眼鏡とロービジョンに対応した拡大鏡サンプルの紹介や説明を行いました。また、「メガネをかけて一緒に見つめよう!」と題した絵画コンクールでは、79点の作品が集まり、200名余りに投票していただき、優秀作品が選ばれました。



.....奈良県支部

9月22日付の奈良新聞で、9月3日橿原文化会館で実施された生涯教育の様子が紹介されました。

森本支部長は「技術や知識を常に最新の状態に保ち、消費者に最適な眼鏡を提供できれば」と記事の中でコメントしています。

●新聞などへの掲載で認定眼鏡士のPR広告●

山梨県支部（10月1日付、山梨日々新聞）

兵庫県支部（10月1日付、神戸新聞）

和歌山県支部（10月10日付、朝日新聞和歌山版）



●ポスター作製など●

・・・・・・・・鹿児島県支部

啓発ポスターを作製し、支部会員に配布。9月10日～10月15日に店頭に掲示し消費者へアピールしたほか、店頭用のノボリ（60cm×180cm）を作製しました。



・・・・・・・・愛媛県支部

愛媛県が主催、県医師会・薬剤師会などが協賛する目の愛護デーポスターに当協会愛媛県支部の名前を依頼により掲載。



●支部単位ではないですが、認定眼鏡士として協力・参加されています●

（京都府支部）

10月5日、ゼスト御池地下街で府眼科医会主催の目の愛護デー行事に小売組合理事であり認定眼鏡士の6名がメガネの無料相談の対応に協力。目の検診に482名、メガネの無料相談に34人が訪れたとのこと。相談内容では「今使っているメガネが合っているかどうか」が一番多かったそうです。

（宮崎県支部）

地元の生目（いきめ）神社でメガネ供養や発展途上国へのメガネの寄贈をしているNPO法人「スローライフ宮崎」のメンバーが山口支部長のお店のお客様だということがわかり、支部長が10月10日のメガネ供養に参加しました。今回は、支部会員から集めた50本のメガネを供養。

次回からは、全支部会員に呼びかけていく予定とのことでした。



（高知県支部）

毎年開催の「メガネのチェック＆チェック」。今年は10月5日、高知眼鏡商組合・県眼科医会主催で、組合員であり認定眼鏡士の10人が対応にあたりました。今年は台風18号の接近で、人出が少なかったということですが、111人（メガネのチェック＆チェックには88人）が訪れたということです。

